

平成26年3月期 決算説明会
業績レビューと今後の重点施策

that's
GOOD
science!

タカラバイオ株式会社
平成26年5月13日

連結業績

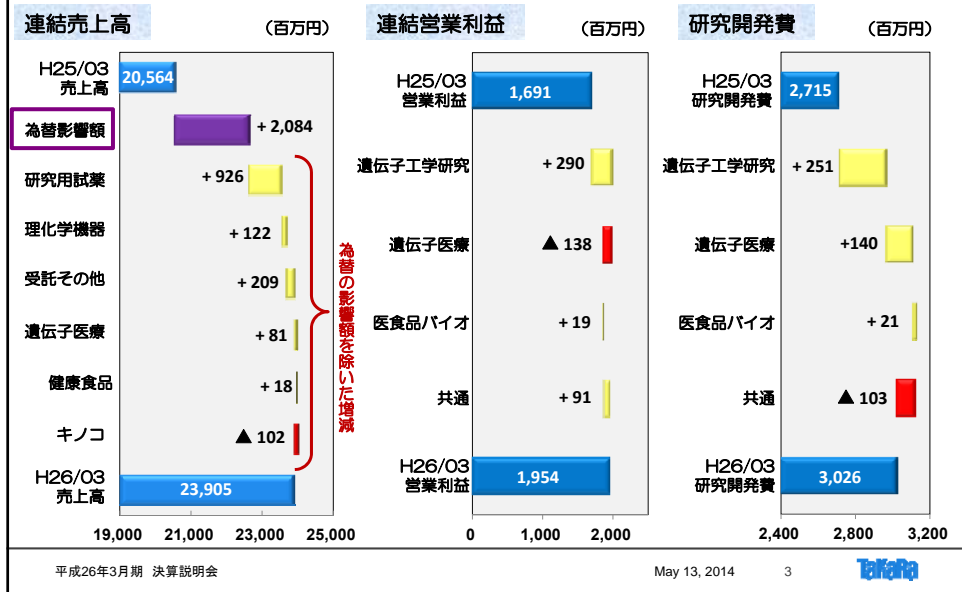
H26/03

(百万円)

	H26/03	1/30見込比		前期比	
		増減	増減率	増減	増減率
売上高	23,905	+205	+0.9%	+3,341	+16.2%
売上原価	11,331	+196	+1.8%	+1,791	+18.8%
売上総利益	12,574	+8	+0.1%	+1,549	+14.1%
販売費及び一般管理費	10,619	▲45	▲0.4%	+1,287	+13.8%
営業利益	1,954	+53	+2.8%	+262	+15.5%
経常利益	2,240	+89	+4.2%	+275	+14.0%
当期純利益	1,470	+120	+8.9%	+7	+0.5%

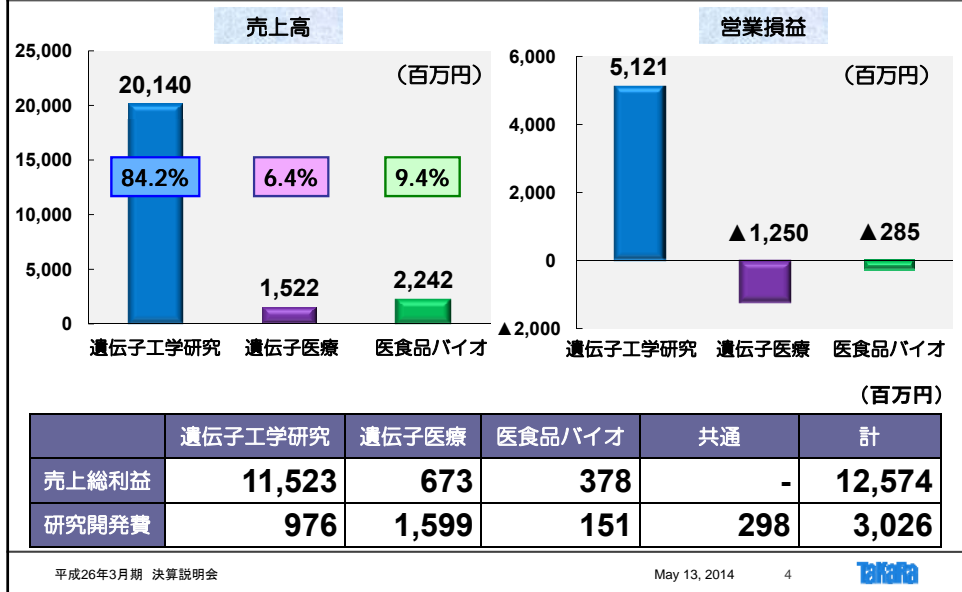
売上高・営業利益・研究開発費（連結） ＜前期比増減＞

H26/03



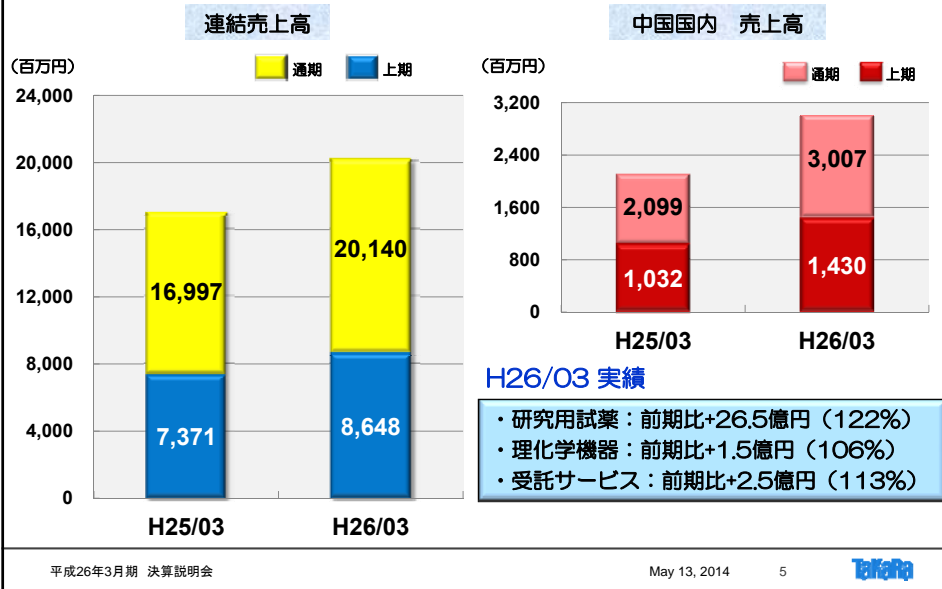
セグメント情報（連結）

H26/03



セグメント別売上高（連結） 遺伝子工学研究事業（1）

H26/03



セグメント別売上高（連結） 遺伝子工学研究事業（2）

H26/03

研究用試薬の外部売上高

（百万円）

	H25/03 実績	H26/03 実績	前期比	為替の影響 (前期比)	前期比（為替 の影響除く）
日本	5,621	5,829	+ 208	-	+208
米国	2,858	3,865	+ 1,007	+ 708	+ 298
欧州	1,158	1,599	+ 440	+ 335	+ 105
中国	1,815	2,620	+ 804	+ 536	+ 268
韓国	453	613	+ 160	+ 126	+ 33
インド	188	225	+ 37	+ 24	+ 13

クロンテック社製品の外部売上高

（百万円）

H25/03 実績	H26/03 実績	前期比	為替の影響 (前期比)	前期比（為替 の影響除く）
3,867	5,002	+1,134	+818	+315

平成26年3月期 決算説明会

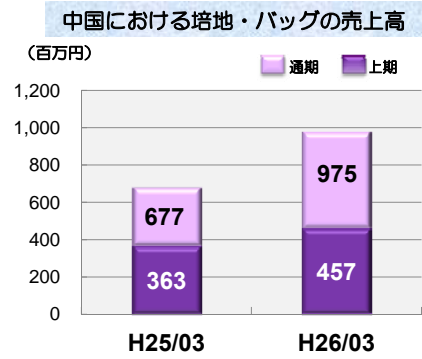
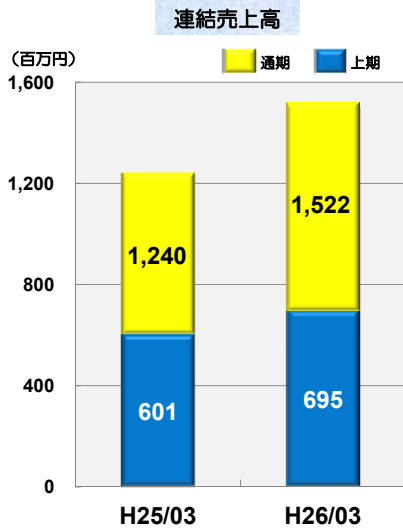
May 13, 2014

6



セグメント別売上高（連結） 遺伝子医療事業

H26/03



H26/03 実績

・中国でのがん免疫療法向けの細胞培養用培地・バッグの売上増加（前期比+2.9億円）

平成26年3月期 決算説明会

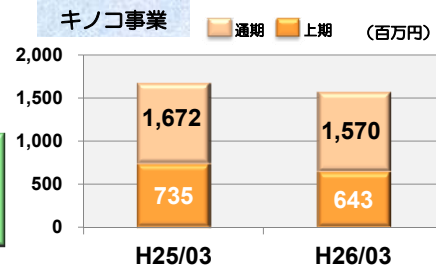
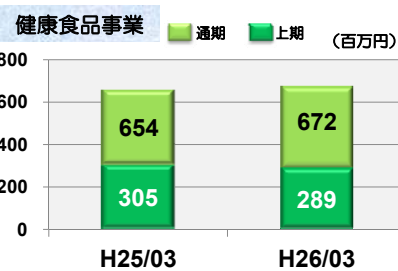
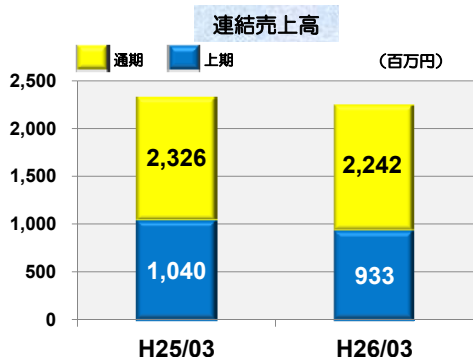
May 13, 2014

7



セグメント別売上高（連結） 医食品バイオ事業

H26/03



H26/03 実績

・健康食品事業 +18百万円
 ・キノコ事業 ▲102百万円
 内訳：ホンシメジ +185百万円
 ハタケシメジ ▲265百万円

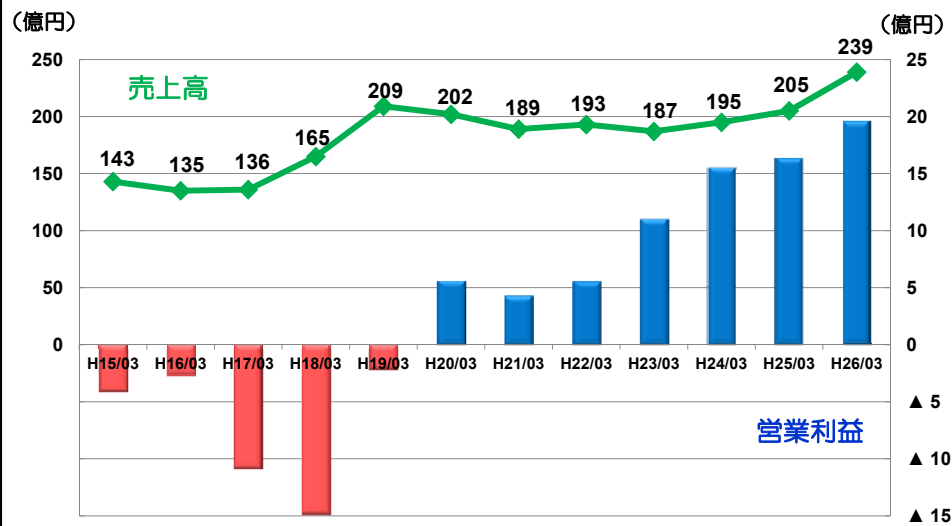
平成26年3月期 決算説明会

May 13, 2014

8



売上高・営業利益（連結）の推移



平成26年3月期 決算説明会

May 13, 2014

9



中期経営計画

- ・ 事業セグメントの変更
- ・ 平成29年3月期までの業績目標
- ・ 各事業における施策

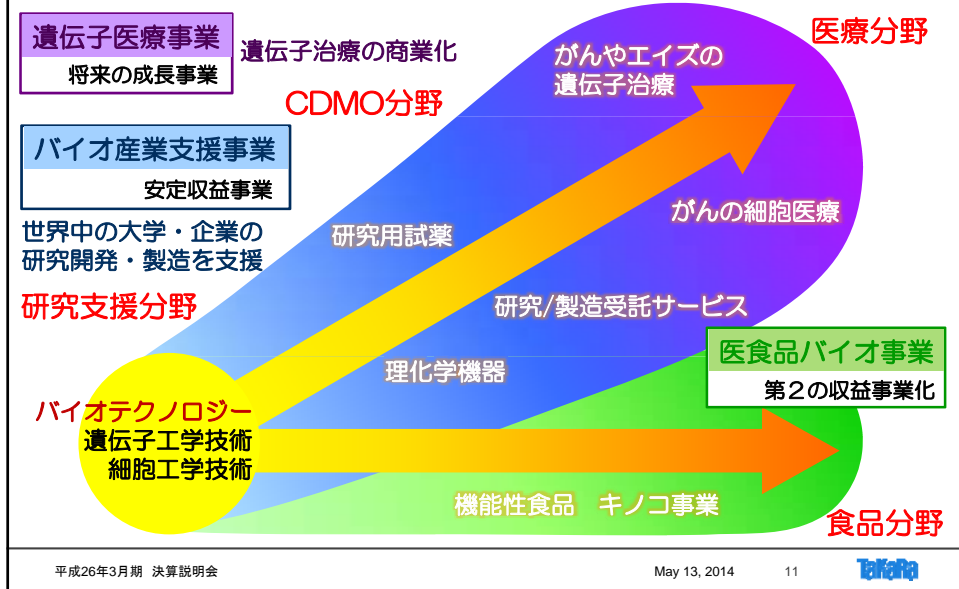
平成26年3月期 決算説明会

May 13, 2014

10



タカラバイオ事業領域



事業セグメントの変更

旧セグメント (~平成26年3月末)		新セグメント (平成26年4月~)	
セグメント名称	事業内容	セグメント名称	事業内容
遺伝子工学研究事業	<ul style="list-style-type: none"> 研究用試薬 理化学機器 受託サービス 	バイオ産業支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 研究用試薬 ✓細胞培養用培地・バッグ 理化学機器 受託サービス ✓クリニック支援サービス ✓GMP製造受託
遺伝子医療事業	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝子治療の臨床開発 クリニック支援サービス GMP製造受託 細胞培養用培地・バッグ 		遺伝子医療事業
医食品バイオ事業	<ul style="list-style-type: none"> 健康食品 キノコ 	医食品バイオ事業	<ul style="list-style-type: none"> 健康食品 キノコ

平成26年3月期 決算説明会 May 13, 2014 12

タカラバイオグループ連結業績目標

(百万円)

	H27/03予算	H28/03計画	H29/03計画
売上高	25,200	26,500	28,000
営業利益	2,000	2,100	2,250
経常利益	2,250	2,300	2,400
当期純利益	1,480	1,500	1,550
研究開発費	3,646	4,084	4,635

セグメント別営業利益

	H27/03予算	H28/03計画	H29/03計画
バイオ産業支援	5,140	5,475	6,010
遺伝子医療	▲1,434	▲1,724	▲2,124
医食品バイオ	▲168	10	100
共通	▲1,536	▲1,661	▲1,736

平成26年3月期 決算説明会

May 13, 2014

13



セグメント別 売上目標

(百万円)

	H27/03予算	H28/03計画	H29/03計画
研究用試薬	16,693	17,594	18,708
理化学機器	2,678	2,681	2,681
受託	3,017	3,229	3,459
その他	363	358	352
バイオ産業支援	22,752	23,863	25,203
遺伝子医療	-	-	-
健康食品	730	789	890
キノコ	1,717	1,847	1,907
医食品バイオ	2,447	2,636	2,797
売上高 合計	25,200	26,500	28,000

平成26年3月期 決算説明会

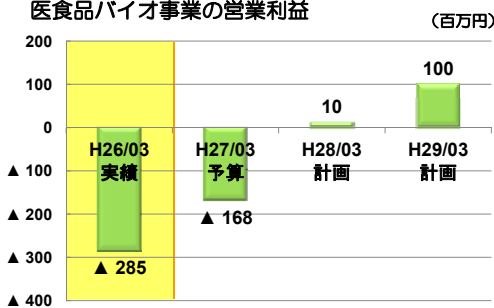
May 13, 2014

14



医食品バイオ事業の施策（１）：健康食品事業

医食品バイオ事業の営業利益



1 利益重視、早期営業黒字化
(平成28年3月期)

2 機能性食品素材のエビデンス強化
(アグロ・メディカルの
アプローチ)

3 エビデンスデータのWeb公開や
情報冊子配布による啓発活動の
強化

機能性食品素材のエビデンス

- ・ガゴメ昆布「フコイダン」：免疫活性化作用、インフルエンザ予防作用・育毛作用など
- ・ボタンボウフウ「イソサミジン」：血流改善作用、排尿改善作用
- ・明日葉「カルコン」：メタボリックシンドローム改善作用
- ・寒天「アガロオリゴ糖」：関節炎予防作用、美容作用（シワ予防など）
- ・クーガイモ「ヤムスゲニン」：脂肪燃焼作用や運動能力の向上作用
- ・きのこ「テルペン」：抗腫瘍作用

医食品バイオ事業の施策（２）：キノコ事業

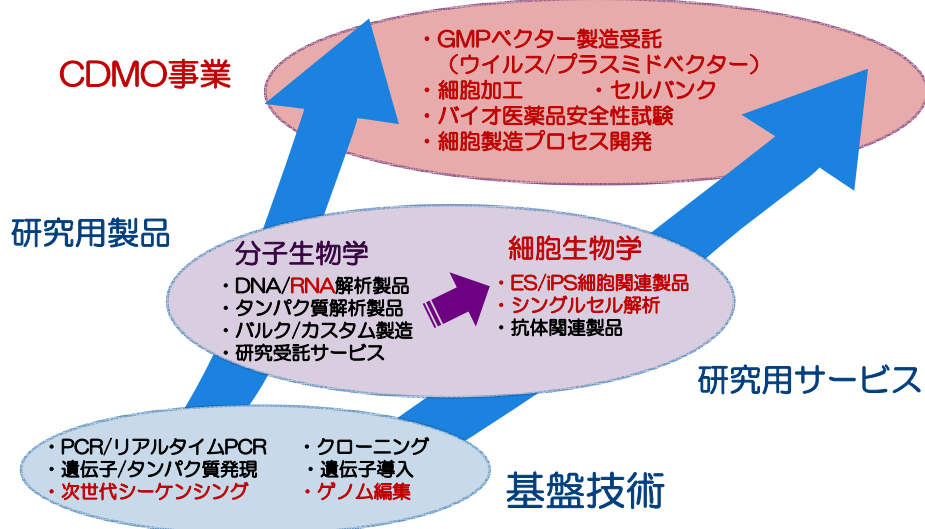
4 ハタケシメジからホンシメジへの生産シフト

- ・瑞穂農林株式会社でのホンシメジの増産による売上拡大
- ・ホンシメジの安定した生産体制の構築
- ・ホンシメジ増産に対応する販売ルートの拡充
- ・キノコ栽培技術・ノウハウのライセンス事業の拡大



		H26/03 実績	H27/03 予算
ホンシメジ (タカラバイオ、 瑞穂農林株式会社)	売上高	515百万円	590百万円
	販売量	約290トン	約400トン
ハタケシメジ (瑞穂農林株式会社)	売上高	431百万円	511百万円
	販売量	約730トン	約680トン
フナシメジ (きのこセンター-金武)	売上高	115百万円	142百万円
	販売量	約230トン	約270トン
キノコ合計	売上高	1,062百万円	1,244百万円

バイオ産業支援事業の施策（1）： 基盤技術の強化による、CDMO事業の拡大



平成26年3月期 決算説明会

May 13, 2014

17



バイオ産業支援事業の施策（2）： 遺伝子・細胞プロセッシングセンターを新設

Center for Gene and Cell Processing

〈目的〉

- ・自社開発プロジェクト品の製造
- ・CDMO受託事業
 - 細胞加工・調製
 - 品質試験
 - 無菌充填など
 - ベクター製造
 - セルバンク保管

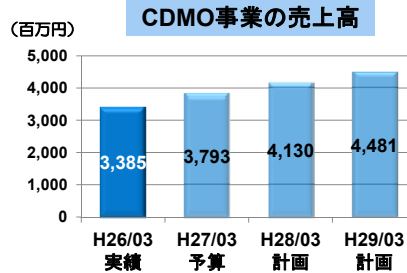


〈稼働スケジュール〉

- 施設完成：平成26年7月
- 本格稼働：平成26年10月

〈規模〉

- ・鉄筋3階建
- ・総延床面積：約6,800㎡



平成26年3月期 決算説明会

May 13, 2014

18



バイオ産業支援事業の施策（3）：事業拡大の方向性

1 遺伝子工学から細胞工学へ

- 幹細胞研究、再生・細胞医療研究分野の新製品開発強化
- 細胞加工受託業の開始、GMPベクター製造受託

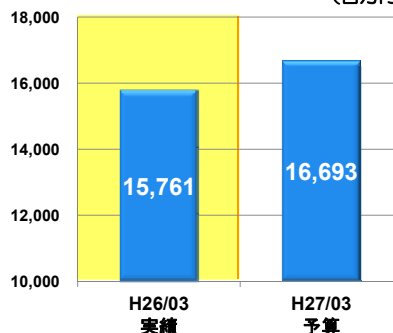
2 基礎研究支援から先端研究支援へ

- 次世代シーケンス関連試薬の開発
- ヒト全ゲノムシーケンス、miRNA解析、ゲノム編集、シングルセル解析などの受託サービスの拡大

3 研究支援から産業支援へ

- Applied Fieldにおけるカスタム製品の開発強化
 - ・食品製造管理用の微生物検出試薬
 - ・環境・分子診断等における製品の開発強化
- 中国、インド、韓国でのApplied Fieldの強化

研究用試薬の連結売上高 (百万円)

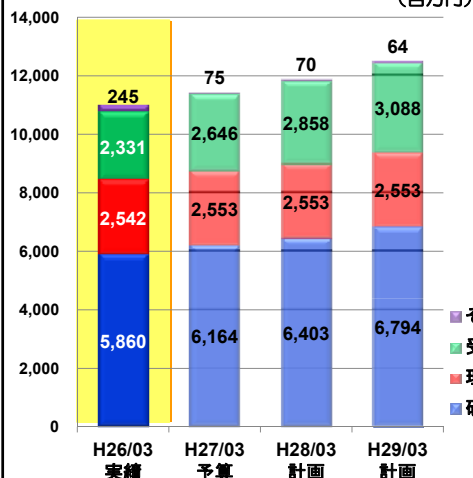


H27/03 研究用試薬の連結売上高
前期比+9.3億円の内訳

日本：+3.0億円、中国：+4.3億円
欧州：+1.5億円、米国：+0.3億円

バイオ産業支援事業の施策（4）：日本

バイオ産業支援事業の日本国内売上高 (百万円)



【組織変更】

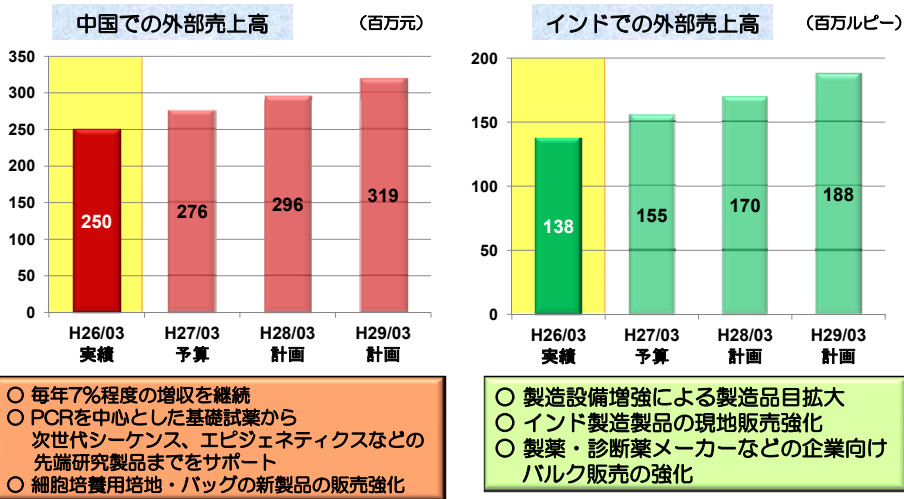
- ・新製品・新サービスの研究開発強化
- ・新GMP施設を活用したサービスの拡大

【注力製品・分野】

- ・リアルタイムPCR関連製品
- ・次世代シーケンス関連製品・受託サービス（細胞加工・ヒト全ゲノム）
- ・Applied Field
- ・OEM・他社からの導入商品の増強



バイオ産業支援事業の施策（５）：中国・インド



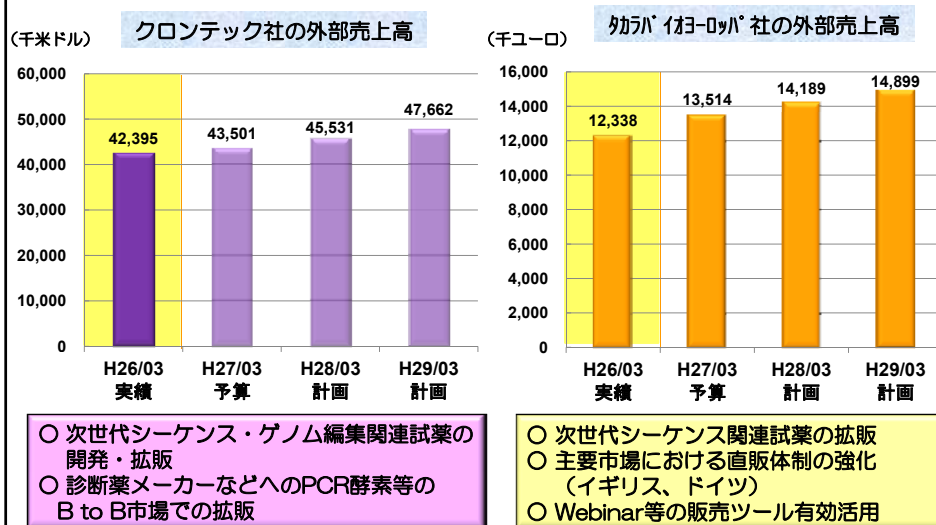
平成26年3月期 決算説明会

May 13, 2014

21



バイオ産業支援事業の施策（６）：米国・欧州



平成26年3月期 決算説明会

May 13, 2014

22



HF10プロジェクト

腫瘍溶解性ウイルスHF10

目標：平成30年度の商業化

○治験

①第Ⅰ相臨床試験（米国）

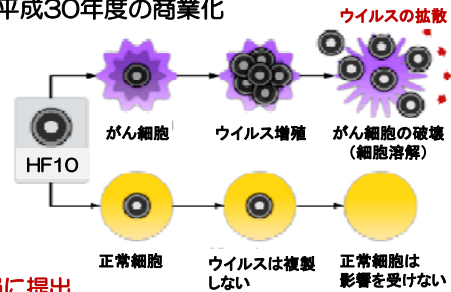
- ・対象疾患：固形がん
- ・被験者組入れが完了
- ・登録28例（評価対象22例）

②第Ⅱ相臨床試験（米国）

- ・臨床試験実施申請書類を米国食品医薬品局に提出
- ・対象疾患：悪性黒色腫
- ・症例数：43名
- ・平成28年度終了予定

③第Ⅰ相臨床試験（国内）

平成26年度臨床試験開始予定



腫瘍溶解性ウイルスによるがん治療

TCR遺伝子治療プロジェクト

MAGE-A4・TCR遺伝子治療

目標：平成33年度の商業化

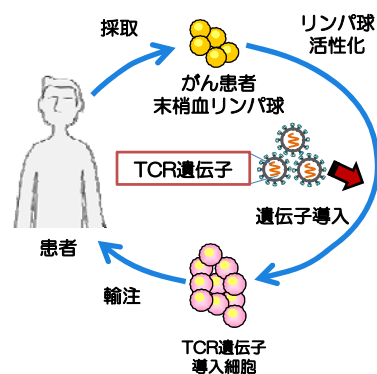
○治験（食道がん等の固形がん）

- ・三重大大学で第Ⅰ相臨床試験（医師主導治験）を開始
- ・症例数：12例
- ・平成27年度終了予定

NY-ESO-1・TCR遺伝子治療

○治験（固形がん）

- ・平成26年度治験開始目標
- ・対象疾患の絞り込みを行い、早期の承認取得を目指すためのプロトコール・治験計画を策定中



MazF遺伝子治療プロジェクト

MazF遺伝子治療

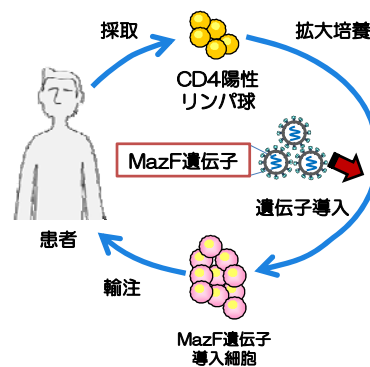
目標：平成34年度の商業化

○治験（HIV感染症）

- ・米国で第Ⅰ相臨床試験を実施中
- ・平成27年度に第Ⅰ相臨床試験を終了予定
- ・残り予定症例数：9例

【治験概要】

- ・第1コホート（目標症例数：6例）
多剤併用療法を受けているHIV感染患者
- ・第2コホート（目標症例数：6例）
3か月以上多剤併用療法を受けていないHIV感染患者



HSV-TK遺伝子治療プロジェクト

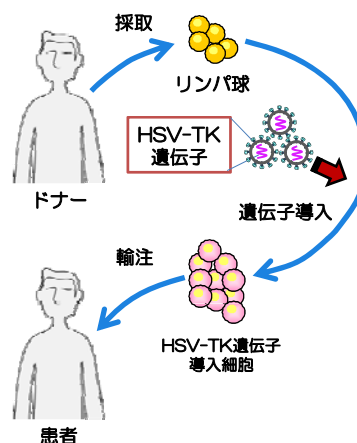
HSV-TK遺伝子治療

○日韓共同治験（造血器悪性腫瘍）

一時的にプロジェクトを凍結

背景：

- ・優先順位の高い臨床開発プロジェクトが新たな段階に進んだ
- ・日本におけるHLA不適合移植の状況が変化
- ・ライセンス元であるイタリアMolMed社が欧州で条件付き製造販売承認を申請
(MolMed社が本年3月発表)



遺伝子医療事業の臨床開発スケジュール

	前臨床試験	第 I 相臨床試験	第 II 相臨床試験	第 III 相臨床試験	商業化
腫瘍溶解性ウイルスHF10		国内・第 I 相臨床試験 (平成26年度開始予定)	米国・第 II 相臨床試験 (平成28年度終了予定)		平成30年度
MAGE-A4・TCR遺伝子治療		三重大学等・第 I 相臨床試験 (医師主導試験) (平成27年度終了予定)			平成33年度
MazF 遺伝子治療		米国・第 I 相臨床試験 (平成27年度終了予定)			平成34年度
NY-ESO-1・TCR遺伝子治療		三重大学等・第 I 相臨床試験 (平成26年度開始予定)			

平成26年3月期 決算説明会

May 13, 2014

27



将来の見通しに関する注意事項

資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

お問合せ先：事業開発部
E-mail: bio-ir@takara-bio.co.jp

平成26年3月期 決算説明会

May 13, 2014

28



参考資料

- ・ H26/03 セグメント別売上高（連結）
- ・ 会社別業績（H25/03～H27/03）
- ・ セグメント別業績（H26/03～H29/03）
- ・ バイオ産業支援事業外部売上高（H27/03）
- ・ H27/03予算 セグメント情報（連結）
- ・ 遺伝子治療・細胞医療の臨床開発

H26/03 セグメント別売上高（連結）

【参考資料】

（単位：百万円）


	H26/03	1/30見込比		前期比	
		増減	増減率	増減	増減率
研究用試薬	14,754	+128	+0.9%	+2,658	+22.0%
理化学機器	2,686	+48	+1.8%	+151	+6.0%
受託	2,221	+35	+1.6%	+259	+13.2%
その他	478	+48	+11.4%	+75	+18.6%
遺伝子工学研究	20,140	+261	+1.3%	+3,143	+18.5%
遺伝子医療	1,522	▲13	▲0.9%	+281	+22.7%
健康食品その他	672	+25	+4.0%	+18	+2.8%
キノコ	1,570	▲68	▲4.2%	▲102	▲6.1%
医食品バイオ	2,242	▲42	▲1.9%	▲84	▲3.6%
売上高合計	23,905	+205	+0.9%	+3,341	+16.2%

【参考資料】

会社別業績

(単位：百万円)		H25/03 実績		H26/03 実績		H27/03 予算	
	従業員数 ^{**}	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
タカラバイオ（単体）	386	14,907	1,445	15,611	1,592	16,273	1,293
瑞穂農林	28	768	▲54	665	▲135	812	39
カガバ イファ-ミツグ センター	0	7	0	17	8	15	5
きのこセンター金武	7	126	▲1	118	▲17	142	0
Takara Bio Europe *	30	1,161	88	1,601	144	1,756	157
宝生物工程(大連) *	525	3,058	1,129	4,018	1,503	4,321	1,583
宝日生物技術（北京） *	24	980	140	1,409	175	1,572	165
Takara Korea Biomedical *	26	554	71	722	93	718	99
DSS Takara Bio *	40	195	▲4	258	▲0	336	39
Clontech Laboratories *	128	3,837	183	5,068	276	5,120	380
計	1,194						

^{**} 従業員数は、平成26年3月31日現在
* 海外子会社は、決算期が1-12月であり、数値は各年1-12月実績


平成26年3月期 決算説明会 May 13, 2014 31 

【参考資料】

セグメント別業績（1）

(単位：百万円)	バイオ産業支援	遺伝子医療	医食品バイオ	共通	計
<H26/03 実績>					
売上高	21,663	-	2,249	▲6	23,905
売上総利益	12,196	-	378	-	12,574
販売費及び一般管理費	7,425	913	664	1,617	10,619
内、研究開発費	1,710	878	151	285	3,026
営業利益	4,770	▲913	▲285	▲1,617	1,954
<H27/03 予算>					
売上高	22,752	-	2,447	-	25,200
売上総利益	12,978	-	483	-	13,461
販売費及び一般管理費	7,837	1,434	651	1,536	11,461
内、研究開発費	1,919	1,426	185	114	3,646
営業利益	5,140	▲1,434	▲168	▲1,536	2,000


※平成26年3月期業績に関しては、平成26年4月1日付の組織改正に従って組み替えて表示しておりますが、確定数値ではありません。

平成26年3月期 決算説明会 May 13, 2014 32 

【参考資料】

セグメント別業績（２）

（単位：百万円）	バイオ産業支援	遺伝子医療	医食品バイオ	共通	計
<H28/O3 計画>					
売上高	23,863	-	2,636	-	26,500
売上総利益	13,706	-	676	-	14,383
販売費及び一般管理費	8,231	1,724	665	1,661	12,283
内、研究開発費	2,023	1,715	190	154	4,084
営業利益	5,475	▲1,724	10	▲1,661	2,100
<H29/O3 計画>					
売上高	25,203	-	2,797	-	28,000
売上総利益	14,598	-	781	-	15,379
販売費及び一般管理費	8,587	2,124	680	1,736	13,128
内、研究開発費	2,129	2,115	196	194	4,635
営業利益	6,010	▲2,124	100	▲1,736	2,250

平成26年3月期 決算説明会 May 13, 2014 33 


【参考資料】

バイオ産業支援事業 外部売上高

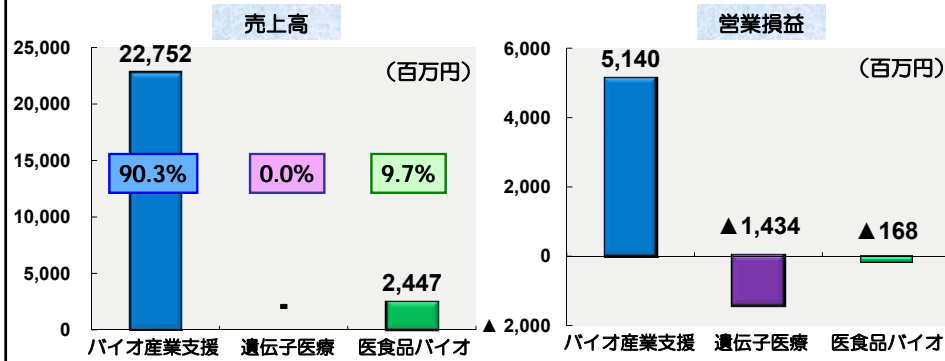
研究用試薬の外部売上高

（百万円）

	H26/O3 実績	H27/O3 予算	前期比	為替の影響 (前期比)	前期比(為替 の影響除く)
日本	5,860	6,164	+303	-	+303
米国	3,865	3,897	+31	▲70	+101
欧州	1,599	1,756	+157	+2	+154
中国	3,596	4,029	+432	+20	+412
韓国	613	617	+3	▲31	+34
インド	225	228	+2	▲27	+29

平成26年3月期 決算説明会 May 13, 2014 34 

H27/03 予算 セグメント情報（連結）



	バイオ産業支援	遺伝子医療	医食品バイオ	共通	計
売上総利益	12,978	-	483	-	13,461
研究開発費	1,919	1,426	185	114	3,646

遺伝子治療・細胞医療の臨床開発（1）

	対象疾患	提携先	現状・今後
HF10（腫瘍溶解性ウイルス） （治療）	悪性黒色腫	ハンツマン癌研究所等	・米国で第Ⅱ相臨床試験を開始 ・平成28年度に終了予定
HF10（腫瘍溶解性ウイルス） （治療）	固形がん	検討中	・平成26年度に第Ⅰ相臨床試験を開始予定
HF10（腫瘍溶解性ウイルス） （臨床研究）	頭頸部がん等の固形がん	三重大学	・平成24年2月に臨床研究開始 ・平成26年度に終了予定
HF10（腫瘍溶解性ウイルス） （臨床研究）	脾がん	名古屋大学	・平成25年4月に臨床研究開始 ・平成26年度に終了予定
HSV-TK遺伝子治療 （ドナーリンパ球輸注療法） （治療）	造血器悪性腫瘍	国立がん研究センター等	・一時凍結
HSV-TK遺伝子治療 （ハプロタイプ一致造血幹細胞移植後のドナーリンパ球追加輸注療法） （臨床研究）	造血器悪性腫瘍	国立がん研究センター	・平成21年12月に臨床研究開始 ・平成26年度に終了
MAGE-A4・TCR遺伝子治療 （治療）	食道がん等の固形がん	三重大学等	・第Ⅰ相臨床試験（医師主導治療）を実施中 ・平成27年度に終了予定

遺伝子治療・細胞医療の臨床開発（2）

	対象疾患	提携先	現状・今後
MazF遺伝子治療（治験）	HIV感染症	ペンシルベニア大学等	・米国での第Ⅰ相臨床試験を実施中 ・平成27年度に終了予定
NY-ESO-1・TCR遺伝子治療（治験）	固形がん	三重大学等	・平成26年度に第Ⅰ相臨床試験を開始予定
MAGE-A4・TCR遺伝子治療（前処置）（臨床研究）	食道がん	三重大学	・平成25年5月に臨床研究を開始 ・平成27年度に終了予定
WT1・TCR遺伝子治療（臨床研究）	造血器腫瘍	三重大学等	・平成25年6月に臨床研究を開始 ・平成27年度に終了予定
CAR遺伝子治療（臨床研究）	非ホジキンリンパ腫	自治医科大学	・平成26年4月に臨床研究を開始 ・平成28年度に終了予定
レトロネクチン誘導Tリンパ球療法（臨床研究）	食道がん、卵巣がん等	三重大学 京都府立医科大学	・平成20年3月に臨床研究を開始 ・平成23年度に終了（三重大学） ・平成26年度に終了予定（京都府立医大）
レトロネクチン誘導Tリンパ球療法（臨床研究）	肝細胞がん	京都府立医科大学	・平成22年7月に臨床研究を開始 ・平成27年度に終了予定
NK細胞療法（臨床研究）	消化器がん	京都府立医科大学	・平成24年度に臨床研究を開始 ・平成25年度に終了